

令和 7 年

第 3 回防府市議会定例会

一 般 質 問

9 月 9 日 (7 人)

1 曾我 好則・2 山田 耕治・3 河村 孝・4 中谷 哲
5 上野 忠彦・6 石田 卓成・7 河杉 憲二

9 月 10 日 (7 人)

8 村木 正弘・9 松村 学・10 宮元 照美・11 藤本 真未
12 上田 和夫・13 田中 健次・14 生野 美輪

9 月 11 日 (6 人)

15 宇多村 史朗・16 重田 直輝・17 和田 敏明・18 三原 昭治
19 原田 典子・20 藤村 こずえ

No.	1	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	次期総合計画における財政運営について	<p>次期総合計画の素案において、令和8年度から更なるまちづくりに向けて取り組むことが示されている。</p> <p>新たな一歩を踏み出そうとする中、これからの財政運営について、どのようにお考えか伺う。</p>

No.	2	山田 耕治
質問事項		要 旨
1	太陽光発電の設置促進に向けた今後の市の取り組みについて	<p>(1) 国の制度設計や東京都や他市の条例化の動きなどがあるが、市としての太陽光設置に関する方針や基本的な考え方は？</p> <p>(2) 公共施設への設置の進捗と、今後の目標設定について。本市が保有する公共施設や公共用地における太陽光発電の導入で、現在どのような施設で設置が進んでおり、導入率はどの程度なのか。また、2030年・2040年といった将来を見据えた導入目標があるのか、あるのであれば、その具体的な方針やスケジュールを伺う。</p> <p>(3) 民間事業所や一般住宅に対する支援状況について伺う。</p> <p>(4) 地域との調和を図る条例が整備されたが、一般家庭での新築・建替え時の考えは？</p>
2	障害者雇用と法定雇用率の達成に向けた取り組みについて	<p>(1) 本市における障害者の雇用状況と法定雇用率の達成状況については？</p> <p>(2) 民間企業への支援・啓発について伺う。市内企業に対する障害者雇用の啓発活動や、雇用に向けた相談支援、障害者と企業のマッチング、さらには各種助成金制度の活用支援などについて、市はどのように取り組まれているのか？</p> <p>(3) 市として障害者の職場定着支援と合理的配慮の促進についての考えは？</p>

No.	3	河村 孝
質問事項		要 旨
1	葬儀と墓地について	<p>少子高齢化、核家族化、そして単身世帯の増加が進み、さらにコロナ禍も重なり、葬儀や墓地のあり方は大きく変わってきた。</p> <p>葬儀では、家族葬が一般的となり、直葬など、より小規模な葬儀の形式が広まり、多様化している。本市の規格葬儀も注目されている。</p> <p>また、墓地では、承継者がいない、遠方に住んでいてお墓を守れないといった理由から、お墓を撤去する「墓じまい」が増加したり、無縁仏になるリスクが増加している。市営墓地等の運営方法も、時代に即した対応が必要だと考える。</p> <p>住民の生活に深く関わる、葬儀と墓地について、ご所見をお伺いする。</p> <p>(1) 規格葬儀について (2) 墓地の管理について</p>
2	プラスチック製品一括回収におけるリチウムイオン蓄電池等の混入対策について	<p>身近な製品に搭載されているリチウムイオン蓄電池は、繰り返し充電できる利便性から普及しているが、熱や衝撃に弱く、ごみ収集車やごみ処理施設で、リチウムイオン蓄電池が原因とみられる火災などの発生件数が増えている。</p> <p>本市として、今後実施されるプラスチック製品の一括回収において、リチウムイオン蓄電池等の混入にどのように対応するか、また、これらの危険物の混入を防ぐための、市民への分別に関する周知について、ご所見をお伺いする。</p>
3	終戦80年を迎えて	<p>80年前の終戦前日、昭和20年8月14日。学徒動員されていた防府高等女学校（現・防府高校）の生徒8名、ならびに、三田尻高等女学校（現・誠英高校）の生徒8名が、光海軍工廠でのB29爆撃により尊い命を落とされた。戦後・被爆から80年を迎えた本年、戦禍を直接経験した世代の高齢化が進む中で、あらためて、「継承」について語られる機会が増え、注目されている。終戦80年を迎えて、ご所見をお伺いする。</p>

No.	4	中谷 哲
質 問 事 項		要 旨
1	児童・生徒の熱中症対策について	<p>児童・生徒の学習・生活の場である小・中学校における熱中症対策は重要である。過去に例のない危険な暑さが続いている中、市は児童・生徒の熱中症対策についてどのように取り組まれるのか伺う。</p>

No.	5	上野 忠彦		
質 問 事 項			要 旨	
1	雨水管理総合計画について		<p>(1) 雨水管理総合計画の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) その内容に、概算工事費が記載されるのか伺う。</p> <p>(3) また、主たる項目は、第6次総合計画にも反映されるのか伺う。</p> <p>(4) 大雨時には水路が溢れて隣接する住宅地の浸水や水路の水位が高くなることで雨水排水管や浄化槽の排水管を通じて宅内側へ雨水が浸入する逆流現象が発生している。雨水管理総合計画が実施されるまでには、期間を要するが、現在、排水ポンプ施設が無い水路において大雨による非常時の緊急対応は現実的には即応は困難と思われるが、局所的な対策を含めて検討しているのか伺う。</p>	

No.	6	石田 卓成		
質 問 事 項			要 旨	
1	送迎バスの空席活用による 高齢者等外出支援の新提案 について		<p>これまで8年間にわたって、コミュニティバスやオンデマンドタクシー、福祉ムーバーなど、様々な取り組みを提案してきたが、未だに話が進展していません。</p> <p>(1) 我孫子市の先進的な取り組みに対する評価と、防府市における有効性や課題についての見解は？</p> <p>(2) 新たに導入される3台の地域クラブ活用送迎バスの空き時間を、高齢者移動支援など、他にも活用するお考えは？</p> <p>(3) そろそろ、実現に向けた具体的な一歩を踏み出して欲しいのですが、いかがですか？</p>	
2	外国人労働者との地域トラブルの未然防止策の再提案 について		<p>我が市でも地域トラブルが続いている中、新たな育成就労制度への移行に伴い、監理支援機関との連携、受け入れ企業や住民への啓発、情報提供などの対策を講じるとともに、特に、住民とのトラブルを未然に防ぐため、転入時に管理団体の緊急連絡先を把握するという以前からの提案を、速やかに実行に移していただきたいのですが、いかがでしょうか？</p>	
3	ゲゼルに学べ！腐るお金？ 減価する地域通貨導入の再 提案について		<p>(1) プレミアム商品券（回転数1倍）と、さるぼぼコイン（回転数1.75倍）、減価通貨（回転数1.4倍）がもたらす本質的な価値の違いをどう評価されますか？</p> <p>(2) トランプ政権による外圧から経済を守るための、長期的な「体質改善」の必要性をどう考えますか？</p> <p>(3) デジタル化がもたらす、データ活用のメリットを、今後のリアルタイムな経済対策に活かすお考えは？</p> <p>(4) 総務省と三菱総研の実証実験結果（消費3割増、コスト半減）を、市としてどう受け止め、検証されましたか？</p> <p>(5) 防府市として、地域経済を救うために「日本初」の本格的な社会実験に踏み出しますか？それとも、日本政府と同じようにトランプ政権に屈してしまいますか？</p>	

No.	7	河杉 憲二		
質 問 事 項			要 旨	
1	米国の関税措置への対応について		<p>7月23日に米国の関税措置に関する交渉が合意に至った。関税措置の発令から5ヶ月が経過した。</p> <p>市では関税措置による市内企業への影響をどのように考えられているのか。</p> <p>また、物価の高騰が続く中、米国の関税措置に対し今後、市としてどのような対策を講じていかれるのか。</p>	

No.	8	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1 防災対策について	<p>第6次総合計画の素案が示され、現計画で取り組んでこられた重点プロジェクト「安全・安心を第一にしたまちづくり」が更に進むことを期待している。</p> <p>8月半ば、山口県を含む九州北部では、線状降水帯の発生が相次ぎ、梅雨時期のような異例の大雨に見舞われた。</p> <p>本市においても、土砂災害警戒区域に避難指示が出され、私も小野地域の自主防災組織、そして消防団として、小野公民館で大雨への対応にあたった。</p> <p>近年、災害が激甚化・頻発化する中、この度の新庁舎となって初めての大雨対応の状況もあわせ、今後の防災対策について、ご所見をお伺いする。</p>	
2 認知症施策の充実について	<p>誰もが認知症になり得るという認識のもと、共生社会の実現が重要。認知症の人も、家族等も共に安全に安心して暮らせる地域社会の構築への取り組みが必要と考える。市としてのご所見を伺う。</p> <p>(1) 認知症基本法に基づき、市町村認知症施策推進計画の策定を検討されているか。また、新しい認知症観の普及啓発について。</p> <p>(2) 認知症のケア技法であるユマニチュードについて。</p> <p>(3) 早期発見のためのスクリーニング検査などの取り組みについて。</p> <p>(4) 見守り体制の強化にGPS 端末や IOT 機器等の導入の取り組みについて。</p>	

No.	9	松村 学
質 問 事 項		要 旨
1	自治会活性化と新しい地域づくりについて	<p>現在、全国で約30万にのぼる自治会が存在し、地域コミュニティに関する施策を展開する時に自治会等を通じて実施している場合が多く、本市においても住民相互の連絡、清掃活動、防災、交通安全、防犯、文化スポーツ活動、盆踊り、地域イベント、市広報等の配布活動など多岐に自治会が行っています。しかし、核家族化、都市化、夫婦共働きが進み、自治会等への加入率の低下がかなり前から進み、併せて役員のなり手不足やそれに伴い役員の超高齢化へと自治会長を交代する時はその当人が亡くなった時と本当にある話ですが、自治会関係者は毎日、頭を悩ませています。4世帯のみの自治会もあるそうで、このままでは自治会等がなくなる地域も近い将来あると言われてしています。そうなって困るのは市民と防府市です。この差し迫った問題について当局の御所見を問います。初めに自治会加入について条例で規定する自治体が増えてきていますが、仮称「防府市自治会応援条例」を制定できないか？次に自治会の活動が市民に理解されていないと推察します。自治会パンフレットを作成配布し、市民に自治会活動の参加を促し、自治会へ加入促進できないか？次に自治会活動のデジタル化を支援し、それにより自治会の負担を軽減できないかお尋ねします。</p>

No.	10	宮元 照美
質問事項		要 旨
1	大雨災害時における県との 防災連携について	(1) 県との連携について (2) 市民への情報発信について (3) 今後の県との連携強化について

No.	1 1	藤本 真未	
質 問 事 項			要 旨
1	地域クラブ活動について		<p>(1) 本市は地域クラブ活動への移行後も部活動の時と同様に中国大会や全国大会の補助金を継続する方針だが、補助金の支払いが年度末（3月）で資金繰りにタイムラグが生じることが懸念されている。本市の見解を伺う。</p> <p>(2) 2025年4月より開始された『地域クラブ活動移動支援補助金』では、公共交通機関の運賃全額を補助しており、来年度からバスの運行も予定されています。しかし、この補助は日常の通い（通学相当）の公共交通機関に限定されており、地域クラブへの移行により市内のチーム数が集約されたことで、市外や県外での練習試合や大会が増加しています。このような遠征では、バスレンタル費用は保護者負担となってしまいます。この状況に対するお考えをお聞かせください。</p> <p>(3) 11月より文化も移行完了となりますが、学校の施設利用についてどのようになるのか伺う。</p>
2	HP等の利便性向上について		<p>本市は母子モや、公式LINEなどのアプリを提供しているが、結局HPに誘導される。子育て世代からの声として、公式LINEやHPは、メニューが分かりづらく、アプリやSNSとの行き来、が複雑との声がある。スマホでの見やすさや検索性、UI/UX（見た目・操作性、使いやすさ）の改善計画を伺う。</p>

No.	1 2	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1	公民館の整備スケジュールについて	<p>公民館は、生涯学習や交流、防災の拠点として、地域の核となっている。</p> <p>その中で、老朽化が著しい中関公民館、交通安全の観点から移転が必要な大道公民館と華浦公民館については、次期総合計画に位置付け、建替えることとされている。</p> <p>その後、各地域において、建替え候補地が選定されたと聞いているが、現在の状況と今後の整備スケジュールについて、ご所見を伺う。</p>
2	小・中学校の不登校について	<p>不登校の現状について</p> <p>(1)把握方法と実態</p> <p>(2)不登校児童生徒に対する支援</p>
3	高齢者の熱中症対策について	<p>高齢者の熱中症対策についてどのように考えておられるか、ご所見を伺う。</p>

No.	13	田中 健次	
質問事項			要 旨
1	地域クラブ活動について	<p>(1) スポーツ関係については、陸上以外のクラブが8月以降に揃うと聞いていますが、加入状況はこれまでの部活動と比べどのような状況か。</p> <p>(2) 障害のある生徒や運動が苦手な生徒が希望に応じて参加できる環境を整備すべきではないか。</p> <p>(3) 運営費への助成、経済的に困窮する世帯の生徒への支援について、どう考えているか。</p> <p>(4) 国の「部活動改革に関する実行会議の最終とりまとめ」では、文化芸術基本法で努力義務とされている「地方文化芸術推進基本計画」にも触れられているが、地方文化芸術推進基本計画の策定についてどう考えられているか。</p>	
2	災害時の避難所について	<p>国は、自治体に対して通知している避難所運営指針を昨年12月に改定し、国際基準を新たに採り入れ、1人当たり最低3.5㎡の専有スペースと災害発生初期段階で50人につき1基のトイレを用意するよう明記した。防府市では、どのような状況か。</p>	
3	使用料・手数料の見直しの基本的な考え方について	<p>使用料・手数料の受益者負担の基本的な考え方が、平成26年の行政改革において、それ以前の考え方を見直したとのことだが、これまで議会に説明がなく、受益者負担割合と激変緩和措置が改悪されている。以前の形に戻すべきだ。</p>	
4	新庁舎に時計の設置を	<p>新庁舎には、時計が設置されておらず、困ったとの話も聴かれます。各階に時計を設置してはどうか。</p>	

No.	1 4	生野 美輪
質 問 事 項		要 旨
1	障がい者就労支援について	<p>障がい者が安心して暮らしていくために、障がいの程度に応じた就労の機会を増やすことが必要である。農福連携事業の推進と就労継続支援 B 型作業所への支援についてご所見を伺う。</p>
2	高齢者の熱中症対策について	<p>今年は例年になく早い梅雨明けに加え、全国各地で最高気温を記録し、災害級の猛暑が続いている。本市では熱中症の疑いで救急搬送される高齢者が多いと聞く。本市の高齢者の熱中症対策について伺う。</p>
3	骨粗鬆症対策について	<p>骨密度が減少する骨粗鬆症になると、軽い転倒やくしゃみなどでも骨折しやすくなる。特に閉経後の女性は骨量が減りやすい。骨粗鬆症の患者や予備軍を早期発見し治療につなげることが大切と考えるが、本市の骨粗鬆症対策について伺う。</p>

No.	15	宇多村 史朗
質問事項		要 旨
1	<p>学校教育における水泳指導の現状とプールの今後のあり方について</p>	<p>(1) 学校における水泳指導の現状について教えてください。</p> <p>(2) 学校プールの維持管理と民間施設との連携について教えてください。</p> <p>(3) 市民プールの全天候型への移行について如何お考えですか。</p>

No.	16	重田 直輝		
質問事項			要 旨	
1	市民サービスを守るための職員確保と、市民のために動く積極的な市役所づくりについて		<p>(1) 依願退職者とメンタルヘルス不調に起因する療養休暇取得者の推移と、実態の把握、対策について 過去10年間の依願退職者数及びメンタルヘルス不調に起因する療養休暇取得者数の推移について、傾向を伺う。また、この実態をどう分析し、どう対策を講じてきたのか伺う。</p> <p>(2) 職員採用の応募状況の推移と、今後の展望について 過去10年間の職員採用の応募状況の推移について、傾向を伺う。また、今後の展望について、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 新人職員の人事異動の期間について 現在、新人職員は入所後、半年で部署異動を行うことが通例となっているが、市役所現場から運用見直しの要望が多く上がっている。執行部の見解を伺う。</p> <p>(4) 職員の異動内示発表の早期化について 異動内示の発表が発令する直前のため、不要な残業や人件費が発生しているとの声がある。異動内示発表を早期化する考えについて伺う。</p>	

No.	17	和田 敏明		
質問事項			要 旨	
1	防災について		(1)	公民館や学校等、避難所のあり方について
			(2)	防災行政無線の利用について
2	遊具等について			学校・公園等の遊具の維持管理について
3	防災広場・総合医療センター・周辺道路等の安全について			防災広場・総合医療センター・アクセス道路の整備に伴う照明の設置について

No.	18	三原 昭治	
質問事項			要 旨
1	市営住宅の民間事業所への賃貸について		<p>防府市は、令和8年度から市内の市営住宅を、民間企業や事業所等に貸与する計画を示しているが、賃貸契約における計画内容等について、どのように考えているのか。</p>
2	交通安全施設の整備状況について		<p>市民の交通安全対策として、危険箇所などにカーブミラーやガードレールなどの交通安全施設の整備を行っているが、近年の整備状況。また、市民からの要望に対して整備までの手順についての対応は。</p>

No.	19	原田 典子	
質問事項			要 旨
1 生活保護について	<p>生活保護は生活に困った時、国民の誰もが憲法25条や生活保護法などに基づいて権利として生活の保障を請求できる制度である。本市での生活困窮者への支援について伺う。</p> <p>(1) 本市の直近5年間の生活保護の相談件数(電話での相談を含む)・申請件数・保護開始件数を伺う。</p> <p>(2) 「生活保護のしおり」の活用について伺う。</p> <p>(3) 生活保護の申請時の対応と、生活に困窮する市民への支援について伺う。</p>		
2 障害者支援について	<p>障害者支援は、これまでも介護人材不足により利用が難しかったが、防府市社会福祉事業団ホームヘルパーセンターの閉鎖に伴い、本市での障害者支援はますます困難となることが見込まれる。今後の本市の状況と取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 本市の直近5年の同行援護事業の登録事業所の登録事業所数、利用者数、利用述べ回数を伺う。</p> <p>(2) 本市の直近5年間の移動支援事業の登録事業所数、利用者数、利用述べ回数を伺う。</p> <p>(3) 介護人材を増やすために本市が行っている取り組みとその効果について伺う。</p>		
3 市民への情報提供について	<p>自衛隊北基地の衛星妨害状況把握装置が令和4年度から設置されている。市民に分かりやすい形で最新情報を周知すべきと考える。市民への情報提供について本市の認識を伺う。</p>		

No.	20	藤村 こそえ
質問事項		要 旨
1 子どもが主役のまちづくり	<p>本市はこれまで本市独自の子育て支援「ほうふっ子応援パッケージ」や、子どもの安全対策、学校環境の整備など、ハード、ソフトの両面において様々な子育て施策を講じ、人口の転入超過など、一定の成果を上げている。今後、さらなる充実を期待している。</p> <p>次期総合計画において未来を拓く子どもたちが健やかに成長するよう、子ども自身の視点を反映した取り組みも重要であると考えますが、どのように取り組まれるのかご所見をお伺いする。</p>	